



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 菱電商事株式会社

コード番号 8084 URL <http://www.ryoden.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 山下 聡

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 田中信三

TEL 03-5396-6111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	98,384	0.4	1,693	△13.8	1,655	△16.6	949	△16.2
23年3月期第2四半期	97,971	26.5	1,963	—	1,984	1,446.7	1,132	886.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 776百万円 (1.1%) 23年3月期第2四半期 768百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	21.87	—
23年3月期第2四半期	26.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	100,091	50,335	50.3	1,159.69
23年3月期	105,083	49,973	47.6	1,151.28

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 50,335百万円 23年3月期 49,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
24年3月期	—	9.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	221,000	12.2	4,230	3.6	4,160	3.6	2,450	4.4	56.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(その他)」に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	45,649,955 株	23年3月期	45,649,955 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	2,245,994 株	23年3月期	2,242,679 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	43,405,471 株	23年3月期2Q	43,411,744 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現段階において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災で停滞した企業の生産や輸出が回復するなか、欧州の財政問題や米国債の格下げによる円高の進行が株価の低迷をもたらし、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの取引に関する業界でも、震災による混乱からサプライチェーンが徐々に正常化するとともに、新興国向け設備投資需要は引き続き活発に推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、震災の影響を早期に克服すべく商社機能を発揮し、中期経営計画の中間年度として、次なるもう一段の飛躍に向け、グローバル化戦略を進めてまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 983 億 84 百万円(前年同期比 0.4%増)、営業利益 16 億 93 百万円(前年同期比 13.8%減)、経常利益 16 億 55 百万円(前年同期比 16.6%減)、四半期純利益 9 億 49 百万円(前年同期比 16.2%減)となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりです。

①FA・環境システム事業

【当第2四半期連結売上高 295 億 47 百万円(前年同期比 3.6%増)、営業利益 10 億 65 百万円(前年同期比 10.3%増)】

FAシステムでは、震災の影響により製品調達に支障が出ましたが、6月以降は一部機種を除き供給が回復し、半導体・液晶関連製造装置及び工作機械関連で、中国等の新興国向け需要が好調に推移し、大幅な増収となりました。

冷熱住機では、震災の影響による製品調達の支障が長引いたものの、太陽光発電等の環境商品の拡大に注力した結果、横這いとなりました。

ビルシステムでは、建設市場低迷のなか、震災の影響も重なり減収となりました。

情報通信デバイスでは、医療機関向け情報機器の販売に注力したものの、IT投資の抑制が継続し、大幅な減収となりました。

②半導体・デバイス事業

【当第2四半期連結売上高 530 億 95 百万円(前年同期比 2.2%減)、営業利益 4 億 42 百万円(前年同期比 39.5%減)】

半導体・デバイス事業では、震災によるサプライチェーンの混乱や、電力不足によるデジタル家電関連及び自動車関連の顧客の生産調整に加え、主要仕入先の生産設備罹災による製品調達への影響を受け減収となりました。

海外子会社では、デジタル家電や車載関連向け電子部品の販売が好調に推移し、増収となりました。

③産業デバイス事業

【当第2四半期連結売上高 157 億 41 百万円(前年同期比 3.9%増)、営業利益 1 億 75 百万円(前年同期比 30.2%減)】

産業デバイス事業では、主要顧客の震災の影響による生産調整もありましたが、産業機器及び自動車関連の回復に復興需要も加わり増収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、現金及び預金が15億26百万円、短期貸付金が49億97百万円減少したこと等により、資産合計は前連結会計年度末比49億92百万円減少し、1,000億91百万円となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金が42億64百万円、短期借入金が6億28百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末比53億53百万円減少し、497億56百万円となりました。

純資産の部は、四半期包括利益7億76百万円の計上と配当金3億90百万円の計上等により、純資産合計は前連結会計年度末比3億61百万円増加し、503億35百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前期末比2.7ポイント増加し、50.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末比15億26百万円減少し、74億44百万円の残高となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動に使用した資金は、48億80百万円（前年同期比54億1百万円増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上16億22百万円、売上債権・たな卸資産の増加及び仕入債務の減少によるネット資金の減少47億39百万円、法人税等の支払12億27百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動から得られた資金は、43億26百万円（前年同期比48億19百万円増）となりました。これは主に、短期貸付金の減少49億97百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動に使用した資金は、10億10百万円（前年同期比11億83百万円増）となりました。これは主に、短期借入金の減少6億19百万円と配当金の支払3億89百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の経済状況は、震災の影響からは回復しつつあるものの、欧州の財政問題の長期化や円高の定着化、更には、タイの洪水の影響など不透明な状況が継続するものと予想されます。

これらのことから、通期の業績予想につきましては、現在のところ、平成23年5月30日に開示いたしました連結売上高2,210億円、営業利益42億30百万円、経常利益41億60百万円、当期純利益24億50百万円を予定しております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【追加情報】

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,971	7,444
受取手形及び売掛金	56,367	56,813
有価証券	129	117
商品及び製品	18,547	18,554
短期貸付金	4,997	—
その他	3,797	4,457
貸倒引当金	△126	△87
流動資産合計	92,685	87,298
固定資産		
有形固定資産	3,923	3,991
無形固定資産	359	370
投資その他の資産		
その他	8,231	8,541
貸倒引当金	△115	△110
投資その他の資産合計	8,116	8,430
固定資産合計	12,398	12,792
資産合計	105,083	100,091
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,914	42,649
短期借入金	1,585	956
未払法人税等	1,284	741
その他	2,458	2,467
流動負債合計	52,241	46,815
固定負債		
退職給付引当金	1,674	1,743
役員退職慰労引当金	209	192
その他	984	1,005
固定負債合計	2,867	2,941
負債合計	55,109	49,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,334	10,334
資本剰余金	7,375	7,375
利益剰余金	33,775	34,310
自己株式	△810	△811
株主資本合計	50,675	51,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166	9
為替換算調整勘定	△867	△883
その他の包括利益累計額合計	△701	△873
純資産合計	49,973	50,335
負債純資産合計	105,083	100,091

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	97,971	98,384
売上原価	88,660	89,023
売上総利益	9,311	9,361
販売費及び一般管理費	7,348	7,668
営業利益	1,963	1,693
営業外収益		
受取利息	15	12
受取配当金	26	31
持分法による投資利益	44	36
為替差益	23	—
貸倒引当金戻入額	0	39
その他	44	43
営業外収益合計	155	162
営業外費用		
支払利息	14	30
売上割引	37	34
為替差損	—	83
その他	83	52
営業外費用合計	134	200
経常利益	1,984	1,655
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	94	—
投資有価証券評価損	17	33
特別損失合計	112	33
税金等調整前四半期純利益	1,872	1,622
法人税等	740	672
少数株主損益調整前四半期純利益	1,132	949
四半期純利益	1,132	949

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,132	949
その他の包括利益		
_{其他有価証券評価差額金}	△248	△154
_{為替換算調整勘定}	△114	△15
_{持分法適用会社に対する持分相当額}	△0	△2
_{その他の包括利益合計}	△364	△172
四半期包括利益	768	776
(内訳)		
_{親会社株主に係る四半期包括利益}	768	776
_{少数株主に係る四半期包括利益}	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,872	1,622
減価償却費	203	184
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△43
受取利息及び受取配当金	△42	△43
支払利息	14	30
為替差損益 (△は益)	0	0
持分法による投資損益 (△は益)	△44	△36
有価証券償還損益 (△は益)	△0	△1
固定資産除売却損益 (△は益)	1	△0
投資有価証券売却損益 (△は益)	21	0
投資有価証券評価損益 (△は益)	17	33
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	94	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,602	△520
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,148	△7
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,556	△4,211
その他	△130	△677
小計	813	△3,672
利息及び配当金の受取額	49	49
利息の支払額	△13	△30
法人税等の支払額	△328	△1,227
営業活動によるキャッシュ・フロー	521	△4,880
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	47	130
有形固定資産の取得による支出	△37	△144
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△25	△61
投資有価証券の取得による支出	△637	△699
投資有価証券の売却による収入	92	119
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△2	4,997
その他	70	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△492	4,326
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	562	△619
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△1
配当金の支払額	△389	△389
財務活動によるキャッシュ・フロー	172	△1,010
現金及び現金同等物に係る換算差額	△93	△14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	108	△1,578
現金及び現金同等物の期首残高	11,150	8,971
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	52
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,258	7,444

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	F A・環境 システム	半導体・ デバイス	産業 デバイス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	28,512	54,312	15,145	97,970	0	97,971	-	97,971
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	-	-	6	100	107	△107	-
計	28,519	54,312	15,145	97,977	101	98,079	△107	97,971
セグメント利益 (営業利益)	965	731	251	1,949	18	1,967	△4	1,963

(注) 1. 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4百万円は、セグメント間取引消去であります。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	F A・環境 システム	半導体・ デバイス	産業 デバイス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	29,547	53,095	15,741	98,384	0	98,384	-	98,384
セグメント間の内部 売上高又は振替高	38	-	2	40	87	128	△128	-
計	29,585	53,095	15,743	98,424	87	98,512	△128	98,384
セグメント利益 (営業利益)	1,065	442	175	1,683	15	1,699	△6	1,693

(注) 1. 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△6百万円は、セグメント間取引消去であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

ご参考までに、前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間の地域別売上高は以下の通りであります。

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

【地域別売上高】 (単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
78,074	10,850	6,288	1,605	1,153	19,897	97,971

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
 2. 連結売上高に占める海外売上高の割合は20.3%であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

【地域別売上高】 (単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
80,750	10,209	6,311	575	538	17,634	98,384

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
 2. 連結売上高に占める海外売上高の割合は17.9%であります。